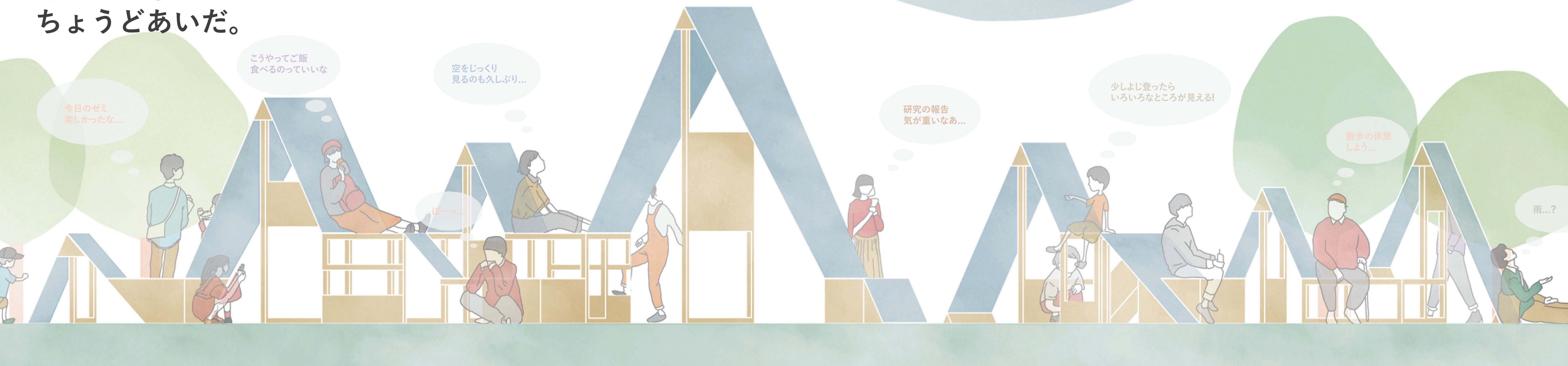


イエとはらっぱの ちょうどあいだ。



2020年の前期、あまりにも家の中にいる時間が長すぎた。一人暮らしの学生たちは狭いワンルームマンションに引きこもり生活を余儀なくされて、誰とも話さず終わる日が続いた。

そこで、この提案では疲れきったステイホーム=イエの概念を覆す場所を提案する。

訪れた人は、まるでイエにいるような行動を、はらっぱのような自由な場所の中で出来る。ちょうどいい居心地を探す。

ひとりの場所をつくりながらみんなつながっているような、イエとはらっぱのちょうどあいだのような場所が必要とされる。

▼コンセプトと提案

1. イエはしんどい場所じゃない

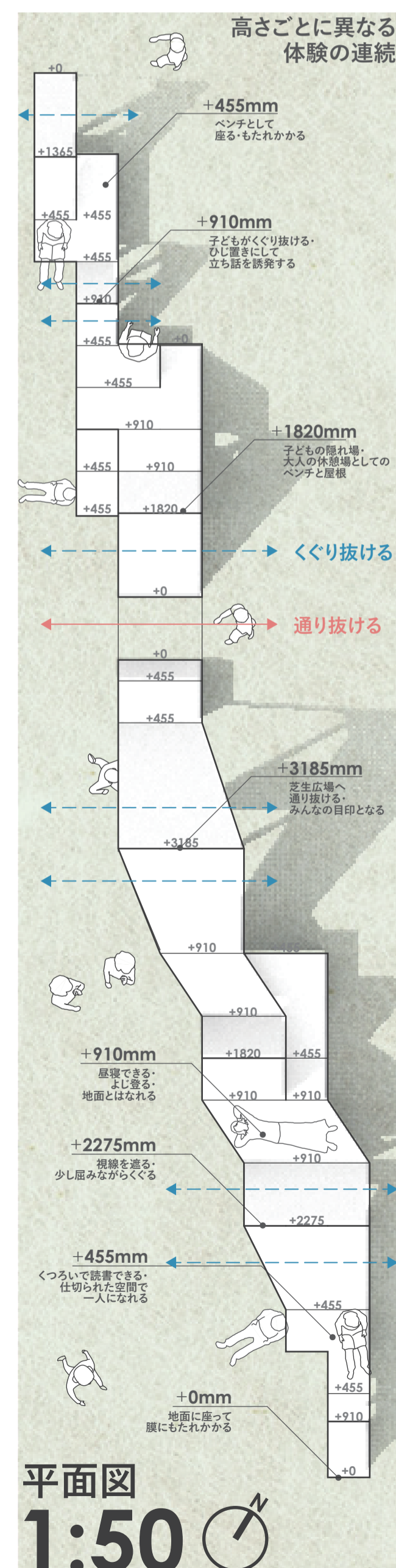
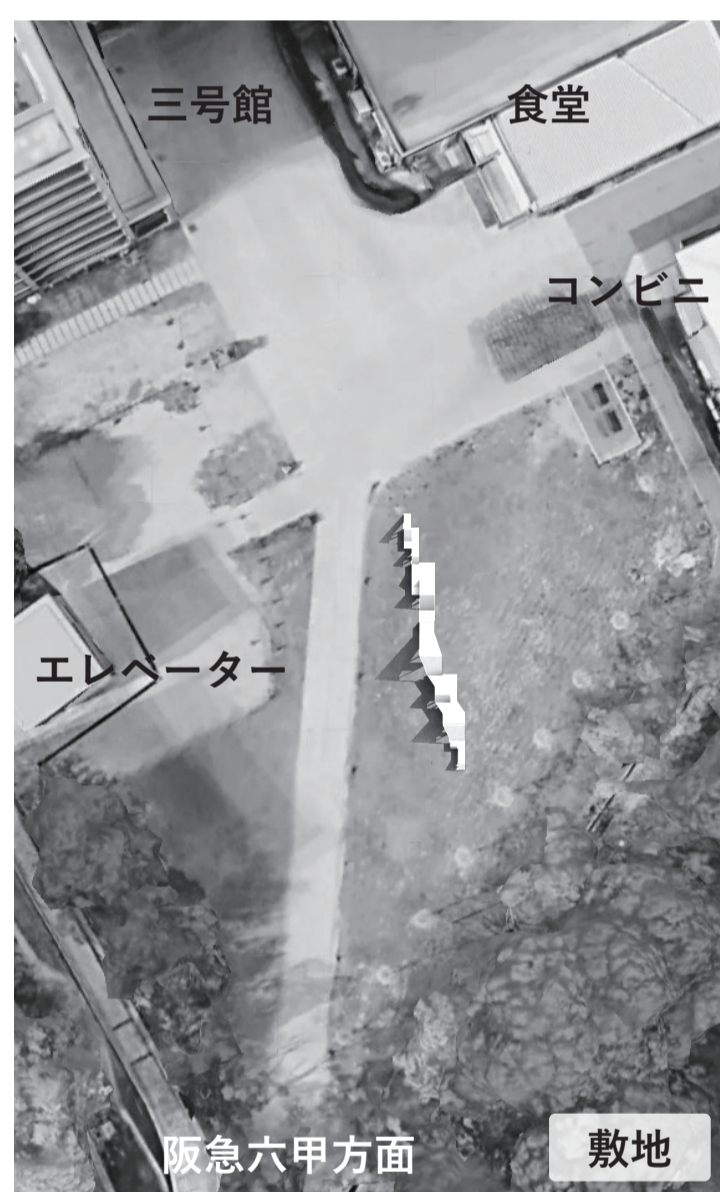
コロナ禍で家にいるのが嫌になる人も多い。だからこそ今あるべきイエのようにくつろげる場を提案。

2. 大学に今までなかったなんでもしていいはらっぱのような場

屋根や遊びなど、今までの大学にはない新たな価値を生む活動を誘発。

3. 地域の人みんなが使える多様性を持った場所

学生だけでなく子供が遊んだり地域の若年寄りの方が休憩するときにも使える多様な場所。



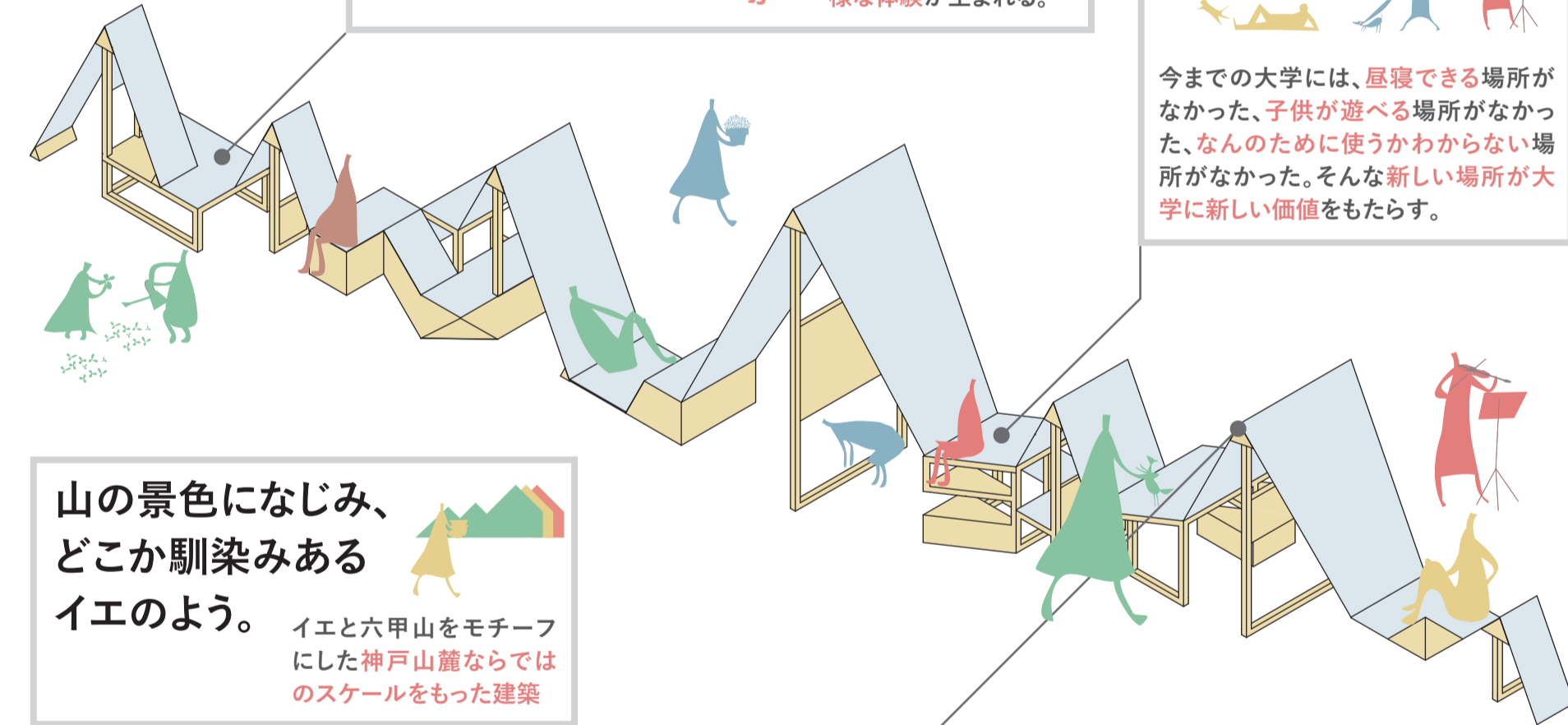
イメージアクトメ

多様なしつらえの繋がりがあいだの体験の連続を生む。

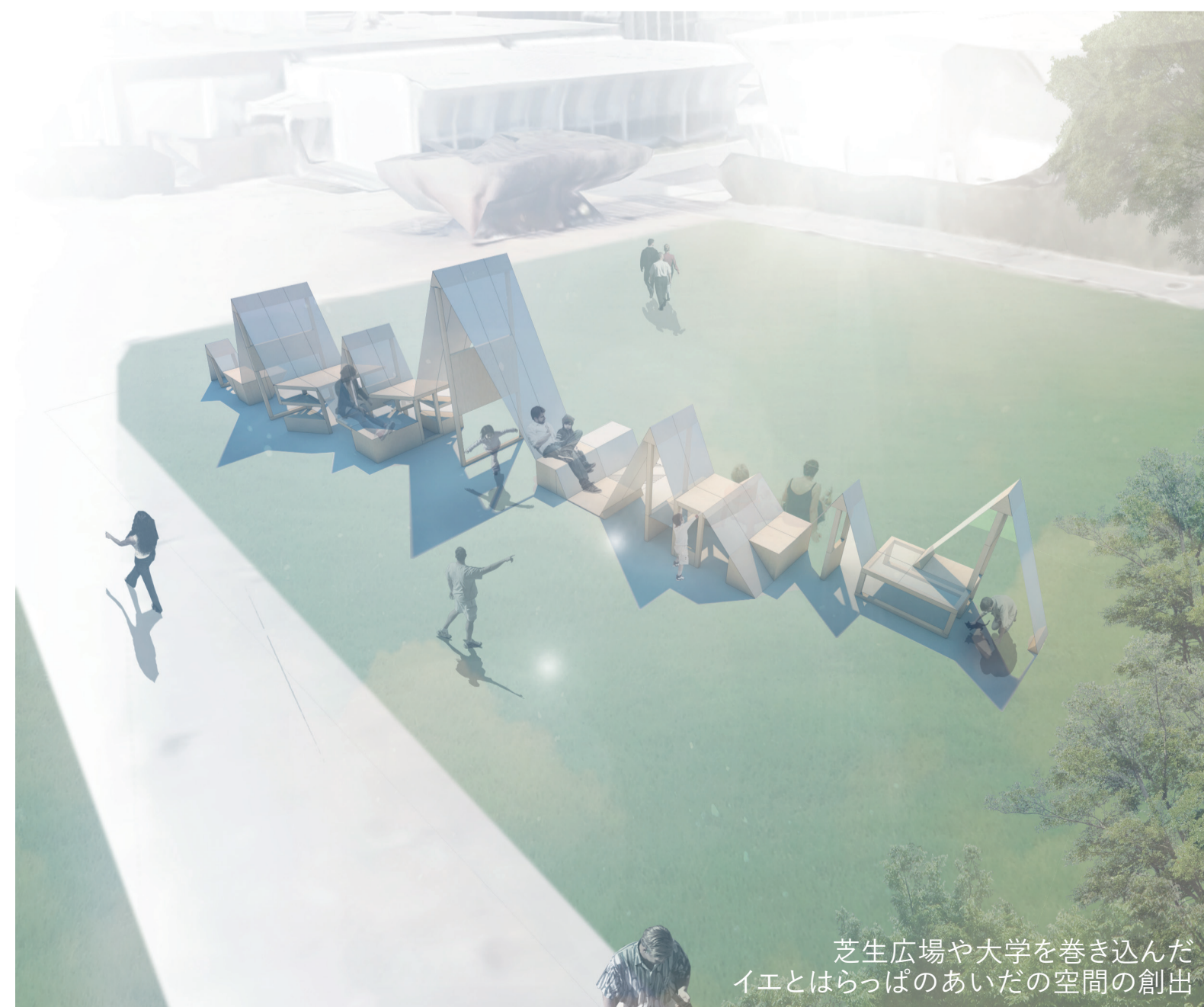
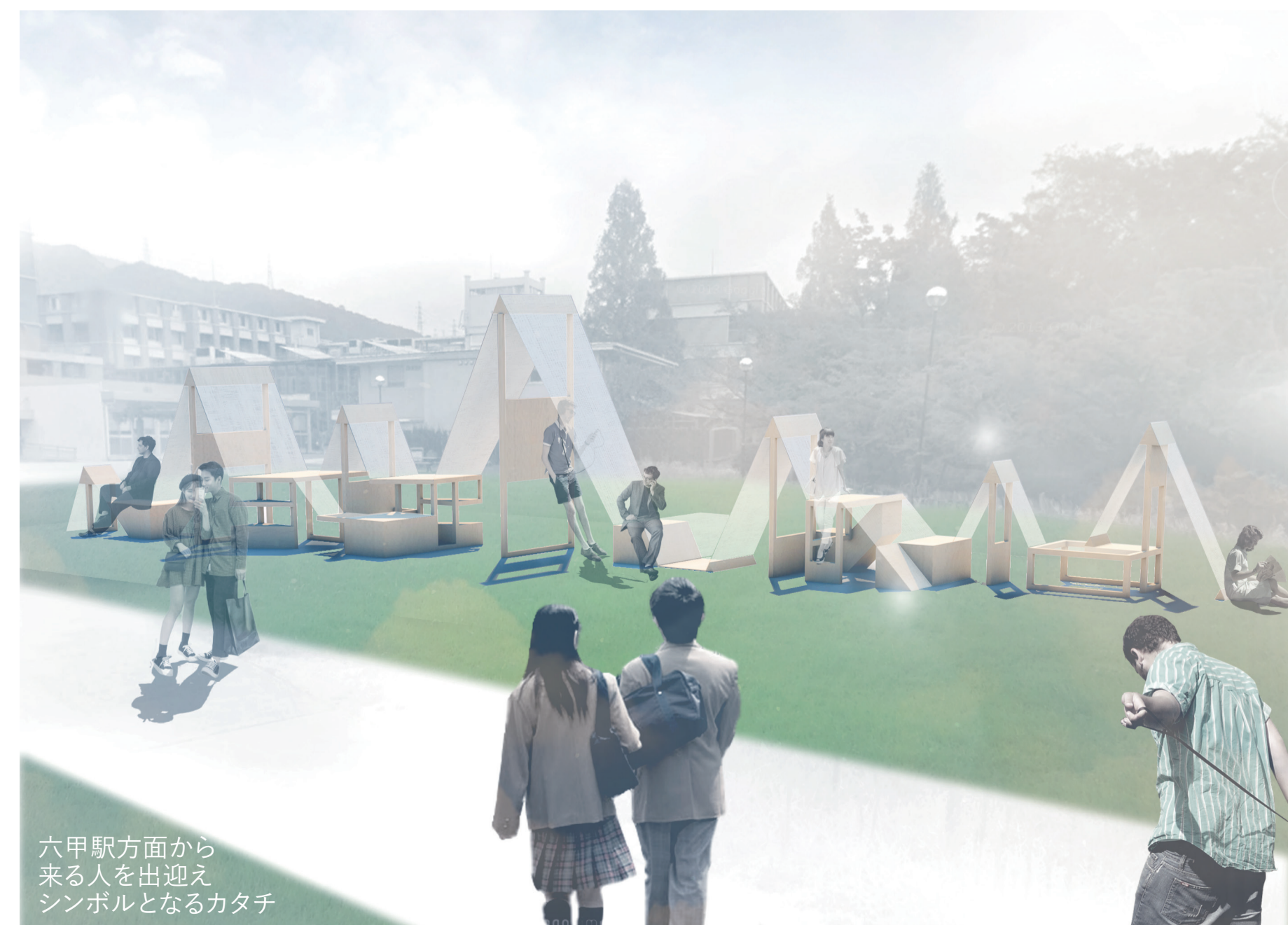
この建築には様々なしつらえが存在する。バラバラな場所が存在するのだ。座ったり、くつたり、昼寝したり、場所に合わせた多様な体験が生まれる。

今までの大学にはない新たな価値をもつ場所の連続

今までの大学には、昼寝できる場所がなかった、子供が遊べる場所がなかった、なんのために使うかわからない場所がなかった。そんな新しい場所が大学に新しい価値をもたらす。



山の景色になじみ、どこか馴染みあるイエのよう。イエと六甲山をモチーフにした神戸山麓ならではのスケールをもった建築



STRUCTURE

張力によるつり合い
水通
膜構造
地面固定

強風時の対応
強風時に受けるような設計である
基本と製作を別にする構造にする構造にする構造にする構造にする

体制の特徴

学生9人による制作
学年・専門分野を超えた協力しあう制作過程の継続創造

地元工務店とコラボ
大学の学生と地元工務店
- 工務店の経験と技術力を活用
- 材料提供
- 製作費を削減
- 製作までを一貫して協力して行う

費用

	面積 (m ²)	単価 (円/m ²)	費用 (円)
不燃膜材料	23.40	4000	93600
ヒノキ材	38.85 (m)	900 (/m)	34965
構造用合板	37.26	2000	74520
固定用金具	-	10000	10000
設計料	25000	総費用	238085 円

MATERIAL

膜素材 × 木材 × 芝生広場

イエとはらっぱのあいだの空間に

膜構造と木造構造体が支え合いもたれあう。

